

2年ぶりに開催

パチンコ・パチスロ21世紀会

パチンコ・パチスロ産業21世紀会は、12月14日遊技会館において14会員団体より62名が出席し2年ぶりに開催された。

来賓として出席の警察庁生活安全局廣田耕一保安課長があいさつ（別掲）の後、議事に続いた。

・リカバリーサポートネットワークの事業拡充説明、協力依頼を受け、各団体で協議対応すること。

・全日遊連報告

1 健推機構経費負担について…ホールとしての責務を果たすべ

く年間台あたり50円の拠出を。

2 ホール5団体の環境問題への取り組みについて…4項目を合意・CO2削減・チームマイナス6%への参加・営業時間外店内自販機の消灯・実務者による環境ノウハウの構築及び啓発ポスターの制作。

・同友会より提案

1、信用保証と公的融資適用要請について、陳情は各省庁へ直接ではなく民主党幹事長室をとおして行うことになっている。

全日遊連が既に中小企業庁と民主党へ陳情した回答が出たのち

必要に応じてホール5団体で行う。

2、パチンコ・パチスロ産業フェア（仮称）について…開催の必要性について。

(1) 衰退期のばちんこに歯止めをかけ転換点とする。最も大事なことは、ばちんこをしない人も、すなわち全ての国民にパチンコ・パチスロをもっと知ってもらうこと。

(2) 産業発展の新しい転機を聞く、産業フェアの開催を、新しいモデルを創り出す起爆剤にする。

毎年の定期開催、継続的開催が必須に。

(3) 産業フェアそのもの自体が、業界の未来像を示しホール営業に必要な最新情報を提供する場とする。